



あべ こういち 議員
阿部 幸一 議員
(新 生 会)

問 荒神海岸周辺 観光拠点の整備は

答 年間を通した 観光地として検討

問 多数の観光客が訪れた、町の観光の拠点である荒神海岸付近と船越大島をさらに観光振興の拠点とするため、公用地として取得し、キャンプ場や駐車場並びに大島などを多くの観光客にとつての憩いの場となるように整備して、現在の道の駅との連携を持った開発をし、誘客すべきであると考えるがどうか。また、荒神地区の土地と大島の土地について船越湾漁業協同組合と協議する段階とと思うがどうか。

佐藤町長 荒神海岸周辺は、夏場の海水浴場

をメインとした観光拠点であると認識している。また、船越大島も本町を代表する貴重な自然景観の一つであると認識している。今後の課題としては、年間を通した観光地として

の在り方の検討が必要になるものと考えている。また、荒神地区と大島の公有地化については、慎重に検討していく。



観光客も多く訪れた荒神海水浴場

問 地方創生臨時交付金 使い道は

答 住宅建築促進事業 などを実施

問 コロナ禍に伴い国より町に交付された、地方創生臨時交付金の使い道について事業ごとに詳しく示せ。

町長 感染防止対策事業や雇用と事業の維持・継続、町内消費需要の喚起による地域経済の活性化策など、効果的な事業を実施している。4年度は、「住宅建築促進事業」、「飲食店エールチケット事業」、「プレミアム付き商品券事業」など11事業を実施している。

問 その効果は。
町長 「プレミアム付商品券事業」などの事業者支援事業は、町内消費需要の喚起により地域経済の活性化が図

られ、事業者に対し下支え効果があったものと認識している。「住宅建築促進事業」は、多くの町民の方から好評をいただいております。快適な住環境が図られることはもとより、住宅関連産業を中心とした事業者の振興と活性化に寄与している。

問 今後の事業展開は。
町長 事業者や農林漁業者に対する支援、子育て世帯への支援など4事業を実施する。今後とも国・県の支援制度を注視し、地域経済の動向等を勘案しながら、必要に応じた事業の実施を検討していく。